

# The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



クラブ会長ターゲット  
「職業を通じて広げる絆」  
"Expanding Relations  
Through Business"  
2018-2019年度  
東京臨海ロータリークラブ会長  
本多 信雄



国際ロータリーテーマ 2018年10月3日【第1114回】

「インスピレーションになろう」  
"BE THE INSPIRATION"  
2018-2019年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン  
創 立 : 1994年8月8日  
会 長 : 本 多 信 雄  
副 会 長 : 佐 藤 正 樹  
幹 事 事 : 佐 藤 大 輔  
会報委員長 : 井 上 晴 貴

10月3日の卓話	9月26日の出席率	10月17日の卓話
「エンディング業界でおこっている パラダイムシフトについて」 ㈱ハウスポートクラブ 代表取締役社長 村田ますみ様	会員在籍者数 37名 会員出席者数 25名 会員欠席者数 12名 本日の出席率 69.44% 前々回訂正出席率 81.08%	「装いの、イメージ戦略への 効果的な取り入れ方」 パーソナルスタイリスト 霜島まき子様

## 《第1113回例会報告 2018年9月26日》

司会：杉浦 SAA 委員長

- 点鐘：本多会長
- ロータリーソング斉唱「日も風も星も」  
：ソングリーダー 尾身会員
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」  
東京臨海 RCVer. 唱和：佐藤正樹副会長
- 来賓紹介：本多会長  
ゲストスピーカー 野崎恭子様



- ビジター紹介：飯塚会員  
富永直樹様（東京あけぼの RC）
- 会長報告：本多会長
  - ・ 第2580地区ガバナー事務所からの連絡  
平成30年7月豪雨 災害支援金の件、2018年9月25日付にて以下3地区の災害支援金専用口座に各238万円（計714万円）を送金いたします。
    - ・ 2670地区（桑原征一ガバナー）愛媛・香川・高知・徳島
    - ・ 2690地区（末長範彦ガバナー）岡山・島根・鳥取
    - ・ 2710地区（吉原久司ガバナー）広島・山口
  - ・ 第3回東分区会長幹事会（9月18日）出席報告

## ■ 幹事報告：佐藤大輔幹事

・ 松坂順一ガバナー公式訪問は、11月7日11時集合です。例会前よりクラブ協議会を開催致しますので、会員皆様の出席をお願いします。クラブ協議会・例会・集合写真の購入希望について返信をお願いします。

## ■ 委員会報告

- ・ ゴルフ幹事（飯塚ゴルフ幹事）  
9月19日（水）開催の東京臨海 RC ゴルフコンペ（下見）報告
- ・ 佐藤正樹会長エレクト  
指名委員会を本日例会後、例会場にて開催致します。元会長の皆様は、出席お願い致します。

## ■ 出席状況報告：小松会員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。



## ■ ニコニコBOX報告：井上会員

（ご意向）「ロータリーの友」編集長の野崎恭子様  
の卓話、どうぞよろしくお願い申し上げます。：本多会長、佐藤正樹副会長、佐藤大輔幹事、田村会員、井上会員、村社会員、入澤会員、齊藤会員、杉浦会員、尾身会員、高橋会員、小松会員、飯塚会員、栗山会員、須藤会員、今井会員、佐久間裕章会員、西野会員、佐久間栄一会員、篠塚慎之介会員、大澤会員



\*卓話者 野崎恭子様より、お車代をニコニコに頂戴致しました。

**【22件 67,240円 累計595,241円】**

■卓話（紹介者：田村会員）

「ロータリーの友にまつわるあれこれ」  
一般社団法人ロータリーの友事務所  
理事・編集長 野崎恭子様



- ・ロータリーの友が創刊されたのが1953年1月。
- ・創刊の理由としては戦後1つしかなかった地区が西日本と東日本に分かれることとなり、情報共有をすることが必要になった。第1号の発行部数は3,300部。
- ・当時は購読義務という言葉はなかったが、日本のロータリアンの全員が購入してくれた。
- ・1977年に公式地域雑誌というシステムがRIで決められ、そこでロータリーの雑誌が購読義務となった。
- ・現在の価格は1部200円
- ・購読義務の雑誌についてはいくつかの条件がある。ザ・ロータリアンの中から指定された記事を転載することや、指定記事を読むことです。具体的には毎月のRI会長メッセージや財団管理委員長のメッセージが毎月の指定記事となり目次にも専用のマークがある。この指定記事を読むことで購読義務を果たしたことになるので是非、目を通してほしい。
- ・ロータリーの地域雑誌の決まり事として7月号はRI会長の写真を載せることや、雑誌の内容の50%がロータリーのことでないといけないとか、年に6回以上発行して、ページ数も24ページ以上でないといけないなど、細かい条件をクリアしながら発行をしています。
- ・現在の投稿内容は活動報告がメインになっていますが、是非、積極的にお声を頂ければと思っています。例えば、ロータリー最近はこちらがよくないとか。そのような声を頂いて様々なディスカッションができる場を提供できればと思っています。
- ・2年ほど前にA4変形版からA4版に変更となった。変更理由としては経費の削減の為にA4変形版は特殊な印刷機での印刷となり印刷経費を削減の為に大日本印刷から提案を頂き変更した。年間900万円の削減。今年の7月号から紙の質も下げた。今まで誰

も気づかれたことがないが、真っ白な紙から少し黄色がかった紙に変更した。これで年間300万円の削減となり、事務所としてもいろいろな努力をしています。

- ・近年、ロータリーの友事務所は赤字が続いている。1997年のバブル期には最高で142,000部/月を発行していたが、現在の発行部数は最多の頃より約3分の2の約95,000部/月で発行部数減少となり赤字の主たる要因となっています。また、広告収入の減少も要因となっていますので、皆様の会社で広告を希望されるようでしたら是非、お声掛け頂きたい。
- ・編集長に就任してから締切に追われるようになって試行錯誤をしている。発行回数やページ数を削減する試みを検討している。実際に7月号は例年80ページであったものを64ページにて発行してみた。理事会でいろいろな意見があったが薄くなって読みやすくなったとお声を頂き、無理をしてページ数を増やさなくてもいいと安心をしている。ページ数を削減するだけではなく、中身を重視し、内容の濃いものをこれからも発行していきます。
- ・雑誌編集者には2年に1度、雑誌編集者セミナーを受けなければならない。各国から編集者が集まり意見交換をする場があり良い経験となった。ロータリーの友の英語表記がTHE ROTARY NO TOMOであることから、NOの部分でYES NOのNOのようで否定的な意味にとらえられるのではないかという意見があったことからローマ字表記をROTARY WORLD MAGAZINE PRESSに変更した。
- ・国際ロータリーの方でブランディングの構築や公共イメージの向上に力を入れている。そのため各国でバラバラな表紙を統一する動きがある。英語表記と日本の毛筆表記でイメージが違うので、今後どのように表記していくのが課題となる。
- ・最近の掲載の傾向としては、ロータリーについて考えるという投稿が少なくなった。以前はロータリー理解推進月間などで四つのテストについて考えるなどがあったが、最近は母子の健康月間や識字率向上など、プロジェクトの報告が多くなったことで、ロータリーのことを学ぶことが少ないのではという声も上がってきています。今後もロータリーらしい雑誌を作っていきたいと思っていますので、皆様からの投稿をお待ちしています。

■点鐘：本多会長

次週10月10日（水）は、  
当クラブ例会は休会です。

### 原稿投稿のお願い

会報「東京臨海RC25周年への思い」のコーナーへ300文字程度で原稿の投稿お願い致します。